
日立ダイアグノスティックツールHDM-330 スキャンツール補助金 実績報告用「診断データ」作成手順

2020年7月27日版
株式会社日立オートパーツ&サービス

本資料の内容は予告無く変更する場合がございます。

内容	掲載ページ
1.本資料、製品に関するお問い合わせ先について	2
2.「診断データ」の提出について	3
3.HDM-330のPDF形式による出力例	4
4.HDM-330操作手順	5
●ステップ1:自社情報設定※	6~10
●ステップ2:車両情報登録	11~15
●ステップ3:DTC点検の実行	16~31
●ステップ4:「診断データ」の出力	32~42

※ステップ1の自社情報設定は入力内容を変更する以外は診断データの作成都度で実行する必要はございません。

1.本資料、製品に関するお問い合わせ先について

本資料、もしくは日立ダイアグノスティックツールHDM330の操作方法等に関するご不明点につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

〒135-0062

東京都江東区東雲2-10-14

株式会社日立オートパーツ&サービス

カスタマーサポートセンター

電 話:03-3527-6323

ファックス:03-3527-6324

また、製品情報、取扱説明書等は日立自動車健康診断ホームページにも掲載しておりますので御参照下さい。

URL：https://www.hdm.hitachiautoparts.co.jp/hdm_usr/html/index.php

※本資料は「診断データ」作成に関連する機能に絞って編集されております。

2.「診断データ」の提出について

- スキャンツール補助金の公募要領で提出が求められている「診断データ」は以下①～④となります。
 - ① 車両を診断した年月日
 - ② 診断した車両の車両番号(ナンバー)または車台番号
 - ③ 診断した車両の型式
 - ④ 診断した車両においてDTC(故障コード)が検出された場合のDTC及び定義
- 日立ダイアグノスティックツールHDM-330は、本体内部に「DiagPrintout」というソフトを内蔵しております。
このソフトは上記①～④のデータを一まとめにして「愛車診断レポート」というレポートの作成が可能です。
- 本書に記載しております手順で「愛車診断レポート」を作成し、PDF化して「診断データ」として出力して下さい。尚、PDF化に当っては、お客様のパソコンにPDF作成ソフトがインストールされている必要があります。
- 「愛車診断レポート」の出力例は次ページを参照下さい。

3.HDM-330のPDF形式による出力例

愛車診断レポート		
お客様名 : 高橋田彦		
メーカー : トヨタ	車種 :	プリウス
登録番号 : 川崎303た1756	車台番号 :	1234567
車両型式 : DAA-ZVW50	診断日 :	2018/08/23
診断結果		
システム	故障コード	内容
エンジン	PO11015	吸気温度センサー1 +Bフォルト断線(High)
	PO10014	E770センサー GNDフォルト断線(Low)
HV	なし	
モータジェネレータ	なし	
レーダークルーズ1	なし	
レーダークルーズ2	なし	
ABS-VSC-TRC	なし	
電動パワステ	なし	
前方認識カメラ	なし	
LKA/LDA	なし	
LKA/LDA (Sub)	なし	
A/C	なし	
エアバッグ	なし	
ブリクラッシュ2	C1A63	他列列異常
メインボデー	なし	
セントラルゲートウェイ	なし	
D席モータ	なし	
P席モータ	なし	
RL席モータ	なし	
RR席モータ	なし	
パワウィンドウSW	なし	
メータ	なし	
ヘッドアップディスプレイ	なし	
IPA/ICS/クリアランスソナー	C1A40	パワウィンドウ異常
レイン&温度センサ/レインセンサ/温度センサ	なし	
オートレベリング	なし	
照合	なし	
電源	なし	
グリルシャッター	なし	
車両接近通報装置	なし	
ITS Connect	なし	
常設オートサービス 担当者 : 藤田佐和 〒135-0062 東京都江東区東雲2-10-14 TEL : 03-3527-6246 / FAX : 03-8527-6246 メール : HAS@hitachisawa.com 使用デスタ : HDM330		

HDM330操作手順

ステップ1 自社情報の入力

自社情報の入力について

愛車診断レポートに印刷する自社工場名、住所等の情報を印刷するための設定です。

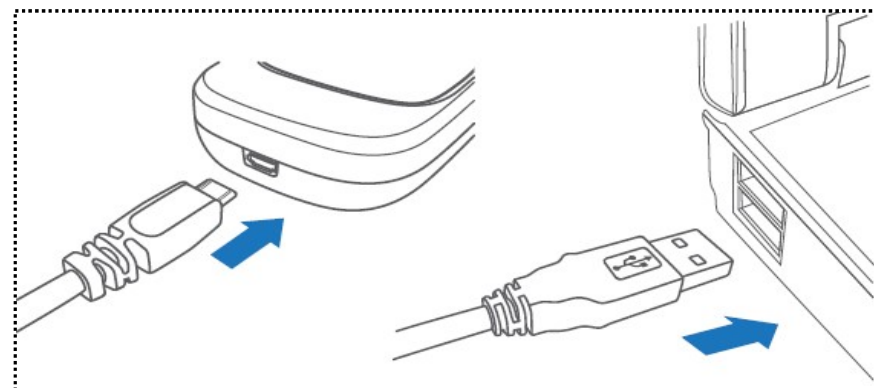
愛車診断レポート		
お客様名 : 高橋田彦		
メーカー : トヨタ	車種 : プリウス	
登録番号 : 川崎303た1756	車台番号 : 1234567	
車両型式 : DAA-ZVW50	診断日 : 2018/08/23	
診断結果		
システム	故障コード	内容
エンジン	P011015	吸気温度センサー1 (+)ショート断線(High)
	P010014	エアフロー GNDショート断線(Low)
HV	なし	
モータジェネレータ	なし	
レーダークルーズ1	なし	
レーダークルーズ2	なし	
ABS-VSC-TRC	なし	
電動/ワフステ	なし	
前方認識カメラ	なし	
LKA/LDA	なし	
LKA/LDA (Sub)	なし	
A/C	なし	
エアバッグ	なし	
プリクラッシュ2	C1A63	他
メインポデー	なし	
セントラルゲートウェイ	なし	
D席モータ	なし	
P席モータ	なし	
RL席モータ	なし	
RR席モータ	なし	
パワーウィンドウSW	なし	
メータ	なし	
ヘッドアップディスプレイ	なし	
IPA/ICS/クリアランスソナー	C1A40	他
レイン&温度センサ/レインセンサ/温度センサ	なし	
オートレベリング	なし	
照合	なし	
電源	なし	
グリルシャッター	なし	
車両接近通報装置	なし	
ITS Connect	なし	

常陸オートサービス
担当者：藤田佐和
〒135-0062
東京都江東区東雲2-10-14
TEL : 03-3527-6246 / FAX : 03-8527-6246
メール : HAS@hitachisawa.com
使用テスト : HDM330

常陸オートサービス
担当者：藤田佐和
〒135-0062
東京都江東区東雲2-10-14
TEL : 03-3527-6246 / FAX : 03-8527-6246
メール : HAS@hitachisawa.com
使用テスト : HDM330

ステップ1. 自社情報の入力

手順1. HDM330とPCの接続
本体キット付属のUSBケーブルとHDM330とPCを接続して下さい。



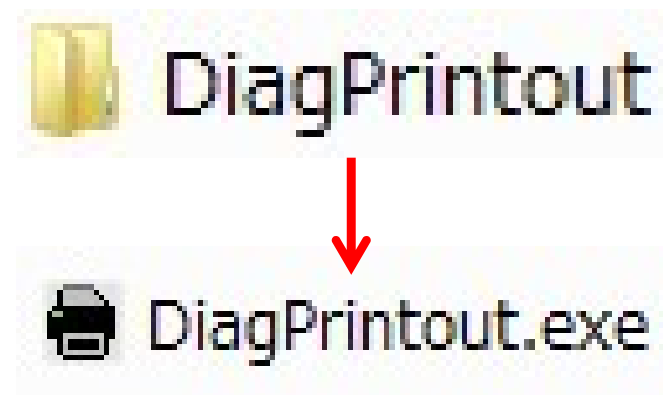
手順2. 「自動再生」の表示
パソコンの画面に「自動再生」が表示されましたら「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。



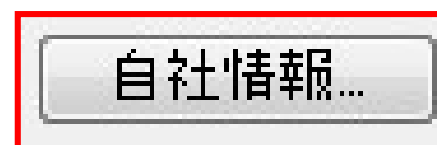
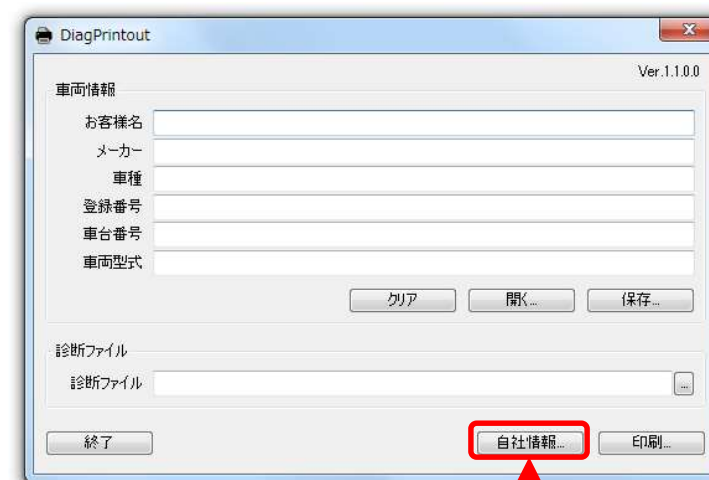
ステップ1. 自社情報の入力

手順3. Diag Printoutの起動

- ①フォルダの一覧が表示されます。
一覧のなかにある「DiagPrintout」のフォルダをクリックします。
- ②「Diagprintout.exe」をクリックします。



手順4. 自社情報の入力画面の起動
パソコンの画面上にDiagPrintout (右図) が起動されます。
DiagPrintoutの右下に表示されている「自社情報」をクリックします。



ステップ1. 自社情報の入力

手順5. 自社情報の入力

「自社情報」の入力欄が表示されたら、自社情報を入力し、最後に「OK」をクリックして完了です。

項目	入力内容
会社名	常陸オートサービス
担当者	勝田佐和
郵便番号	135-0062
住所	東京都江東区東雲2-10-14
電話番号	03-3527-62XX
FAX	03-3527-62△△
メール	HAS@hitachisawa.com
使用テスト	HDM330

自社情報入力は入力内容を変更する以外は都度実行する必要はございません。

ステップ2 車両情報登録

ステップ2: 車両情報登録

手順1. Diag Printoutの起動

10~11ページの手順でDiagPrintoutを起動して下さい。

手順2. 車両情報の入力

車検証の記載項目の内、下図の赤い破線部内の項目に該当する項目を入力して下さい。入力が完了しましたら保存をクリックします。

The screenshot shows the 'DiagPrintout' application window with the following fields and values:

車両情報	
お客様名	
メーカー	トヨタ
車種	ノアハイブリッド
登録番号	川崎501た197X
車台番号	ZWR80-0140072
車両型式	ZWR-80G

Buttons: クリア, 開く..., 保存..., 診断ファイル, 診断ファイル, 終了, 自社情報..., 印刷...

下記①②は**必ず入力**して下さい。
①登録番号か車台番号
②車両型式

保存...

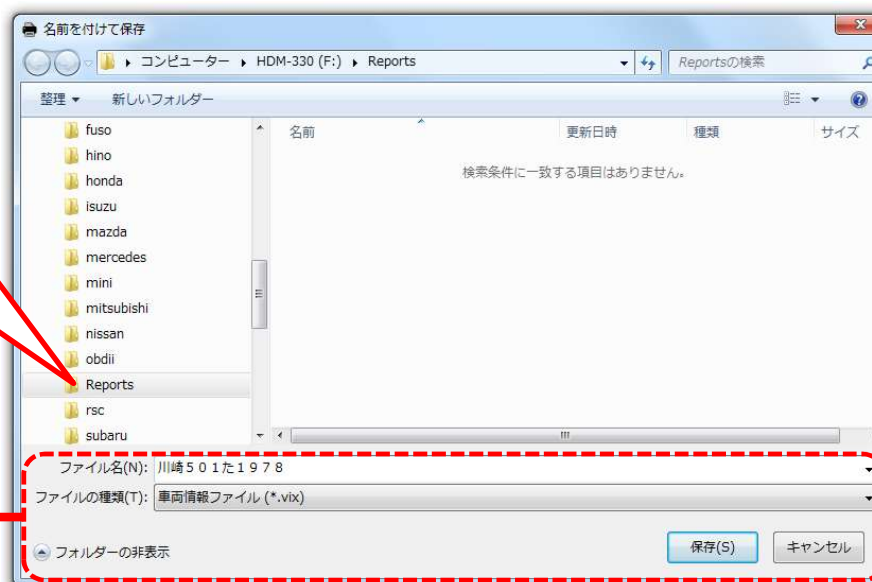
※クリアをクリックすると入力した情報が消去されます。

ステップ2: 車両情報登録

手順3. ファイル名の保存

「名前をつけて保存」が表示されますので、保存するフォルダを選択した後、ファイル名の欄に呼び出しが行い易い名前(例:ナンバープレートの番号)を入力して、最後に「保存」をクリックして下さい。

HDM330内で保存するフォルダを選択して下さい。(通常はReportかDiag Printoutのフォルダを選択します)



ステップ2:車両情報登録

手順4. DiagPrintoutの終了

車両情報の保存が完了しましたら、最後に左下の「終了」をクリックして、一旦、DiagPrintoutを終了して下さい。

The screenshot shows the 'DiagPrintout' application window. The title bar includes the application name and a close button. The version number 'Ver.1.1.0.0' is displayed in the top right corner. The main area is titled '車両情報' (Vehicle Information) and contains several input fields: 'お客様名' (Customer Name), 'メーカー' (Manufacturer) with 'トヨタ' (Toyota) entered, '車種' (Vehicle Type) with 'ノアハイブリッド' (Noah Hybrid) entered, '登録番号' (Registration Number) with '川崎501た197X' entered, '車台番号' (Chassis Number) with 'ZWR80-0140072' entered, and '車両型式' (Vehicle Model) with 'ZWR-80G' entered. Below these fields are three buttons: 'クリア' (Clear), '開く...' (Open...), and '保存...' (Save...). A section titled '診断ファイル' (Diagnostic File) contains a '診断ファイル' (Diagnostic File) field with a browse button (...). At the bottom left, the '終了' (End) button is highlighted with a red dashed box. Other buttons at the bottom right include '自社情報...' (Company Information...) and '印刷...' (Print...).

終了

保存した車両情報は繰り返して使用することが可能です。

ステップ3 DTC点検の実行

HDM330の「診断」機能を使用して、車両に「診断データ」の④(3ページを参照)のDTCが記憶されているか確認し、保存する機能です。

以下の様に2通りの方法がございますので、状況に応じて選択して下さい。

①全自己診断

車両に搭載している全てのコントロールユニット(コンピュータ)と通信を行い、それぞれのコントロールユニットの故障コード(DTC)の有無を一括で点検する機能です。

⇒18ページからのステップ3-Aを参照して下さい。

②個別でシステムを選択して診断

●HDM330のシステム選択画面で診断したいシステムのコントロールユニットを個別に選択して、故障コード(DTC)の有無を点検する機能です。

●画面に故障コードが表示されている場合は、保存機能を実行することが可能です。

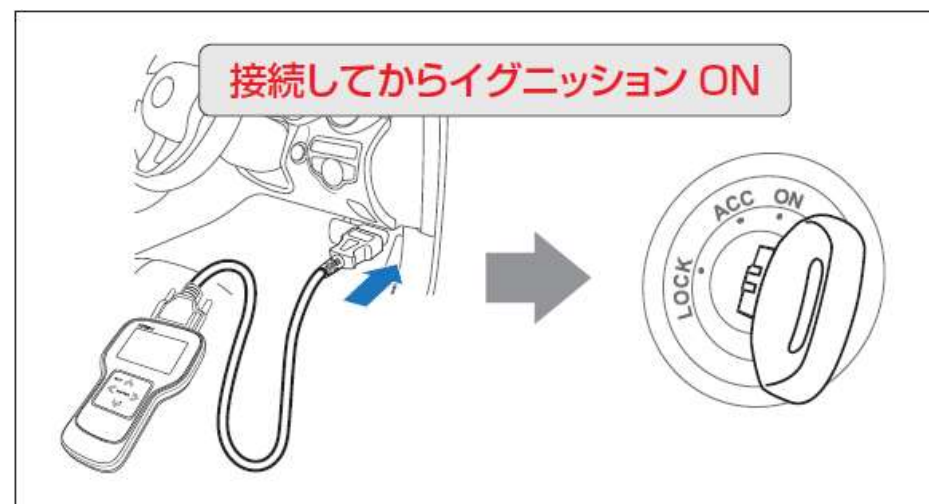
⇒26ページからのステップ3-Bを参照して下さい。

ステップ3-A 全自己診断

ステップ3-A:全自己診断

手順1. HDM330の車両への接続

- ①車両がイグニッションオフであることを確認してからHDM330のダイヤケーブルを車両側DLCコネクタに接続して下さい。
- ②イグニッションONにして下さい。



手順2. HDM330の起動

HDM330が起動し、HDM330メニュー（メインメニュー画面）が表示されます。



ステップ3-A:全自己診断

※:以下からはトヨタソフトでの手順例です。ソフトにより車両や年式を選択する画面が表示され、操作方法が異なる場合があります。

手順3. 診断の選択

画面上の「診断」にカーソルを合わせた状態で本体の「ENTER」を押して下さい。



手順4. メーカー選択

カーソルを使用したいソフトに合わせて本体の「ENTER」を押して下さい。

※本ページのように「トヨタ/レクサス」を選択する場合は、一度、「国産乗用車」にカーソルを合わせてから、カーソルを右の画面の「トヨタ/レクサス」に移動させて「ENTER」を押します。



ステップ3-A:全自己診断

手順5. 地域設定

「地域設定」の画面が表示されます。日本国内向けの車両であれば「日本」にカーソルを合わせた状態で本体の「ENTER」を押して下さい。



手順6. 車両選択

「車両選択」の画面が表示されます。「自動検出」にカーソルを合わせた状態で本体の「ENTER」を押してください。



ステップ3-A:全自己診断

手順7. ブランド

「ブランド」の画面が表示されます。
車両に適合するブランドを選択して、
本体の「ENTER」ボタンを押して下さい。



手順8. トヨタ メインメニュー

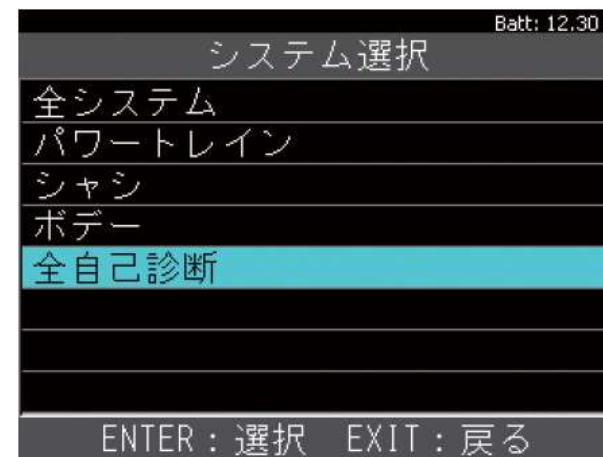
「トヨタメインメニュー」の画面が表示
されます。
「診断」にカーソルを合わせた状態で
本体の「ENTER」ボタンを押して下さい。



ステップ3-A:全自己診断

手順9. システム選択

「システム選択」の画面が表示されます。
「全自己診断」にカーソルを合わせた状態で
本体の「ENTER」ボタンを押して下さい。



手順10. 全自己診断の実行

「全自己診断」が実行され、各コントロール
ユニットのDTC(故障コード)の有無を
点検します。
終了するまで、暫くお待ち下さい。



ステップ3-A:全自己診断

手順11. 全自己診断の完了
「全自己診断」が完了すると右図の様な画面が表示されます。



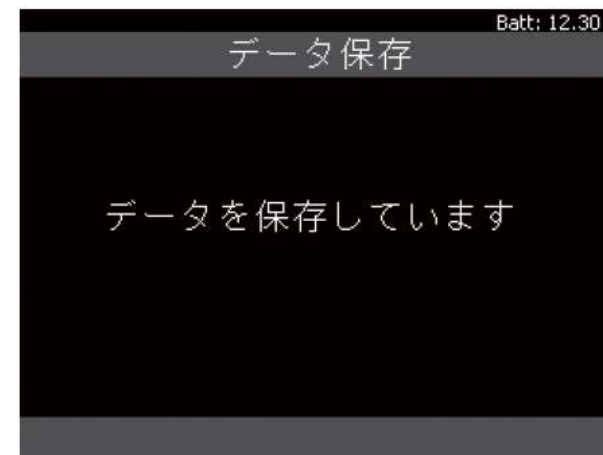
手順12. データ保存の実行
次に「データ保存」にカーソルを合わせて本体の「ENTER」ボタンを押して下さい。



ステップ3-A:全自己診断

手順13. データ保存中の画面

データ保存が完了するまでは右図の画面が表示されます。



手順14. データ保存の完了

- ①データ保存が完了すると右図の画面が表示されます。
- ②表示されている番号(赤枠の部分)を控えて下さい。(ステップ4で必要になります)
- ③HDM330を車両から取り外して下さい。



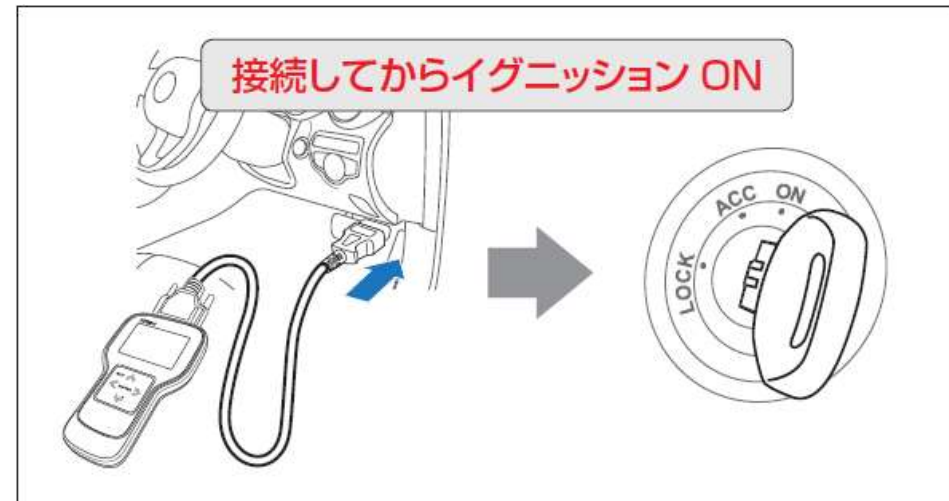
32ページのステップ4へ進んで下さい。

ステップ3-B 個別で診断

ステップ3-B:個別で診断

手順1. HDM330の車両への接続

- ①車両がイグニッションオフであることを確認してからHDM330のダイアグケーブルを車両側DLCコネクタに接続して下さい。
- ②イグニッションONにして下さい。



手順2. HDM330の起動

HDM330が起動し、HDM330メニュー（メインメニュー画面）が表示されます。



ステップ3-B:個別で診断

※:以下からはOBDⅡソフトでの手順例です。ソフトにより車両や年式を選択する画面が表示され、操作方法が異なる場合があります。

手順3. 診断の選択

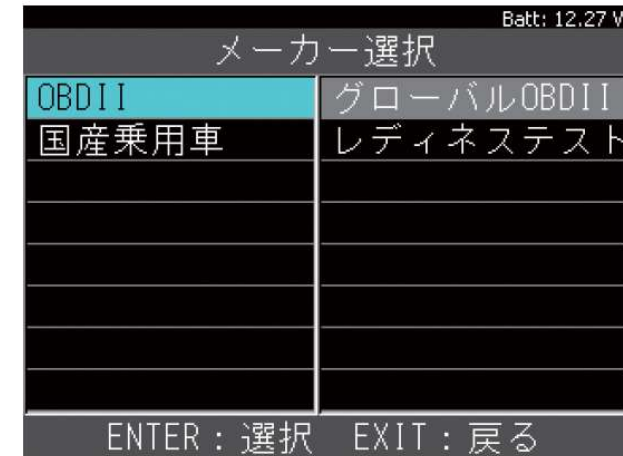
画面上の「診断」にカーソルを合わせた状態で本体の「ENTER」を押して下さい。



手順4. メーカー選択その1

カーソルを「OBDⅡ」に合わせて本体の「ENTER」を押して下さい。

※国産車を診断したい場合は「国産乗用車」にカーソルを合わせます。



ステップ3-B:個別で診断

手順5. メーカー選択その2

カーソルを「グローバルOBD II」に合わせて本体の「ENTER」を押して下さい。



手順6. ECU選択

診断するECUの選択画面が表示されますので、カーソルで選択して、本体の「ENTER」を押して下さい。

※:右の表示例では一つですが、複数表示される場合がございます。



ステップ3-B:個別で診断

手順7. 診断メニュー

診断メニュー画面が表示されます。
「故障コードの読取」にカーソルを
合わせた状態で本体の「ENTER」
ボタンを押して下さい。



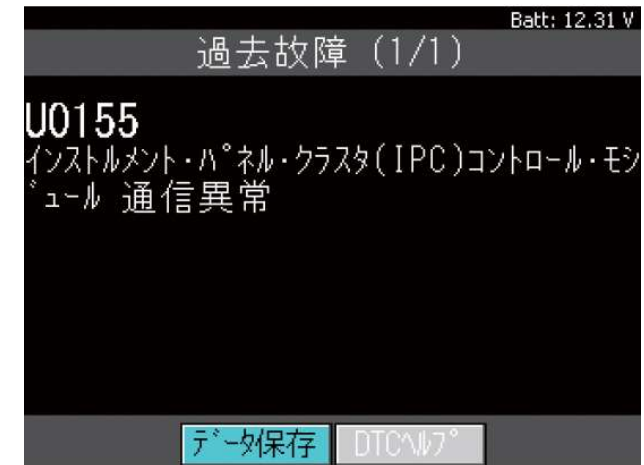
手順8. 故障コードの読取

コントロールユニットが故障コードを
記憶している場合は右図の様に
故障コードを表示します。
カーソルを故障コードに合わせて
本体の「ENTER」ボタンを押して
下さい。



ステップ3-B:個別で診断

手順9. データ保存の実行
故障コードの詳細表示画面が表示されます。
画面下の「データ保存」にカーソルを合わせて、本体の「ENTER」ボタンを押して下さい。



手順10. データ保存の完了

- ①データ保存が完了すると右図の画面が表示されます。
- ②表示されている番号(赤枠の部分)を控えて下さい。(ステップ4で必要になります)
- ③HDM330を車両から取り外して下さい。

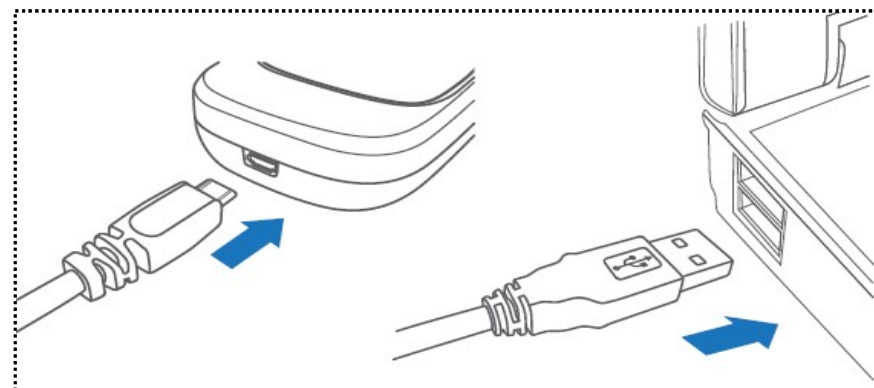


32ページのステップ4へ進んで下さい。

ステップ4 診断データの出力

ステップ4. 診断データの出力

手順1. HDM330とPCの接続
本体キット付属のUSBケーブルとHDM330とPCを接続して下さい。



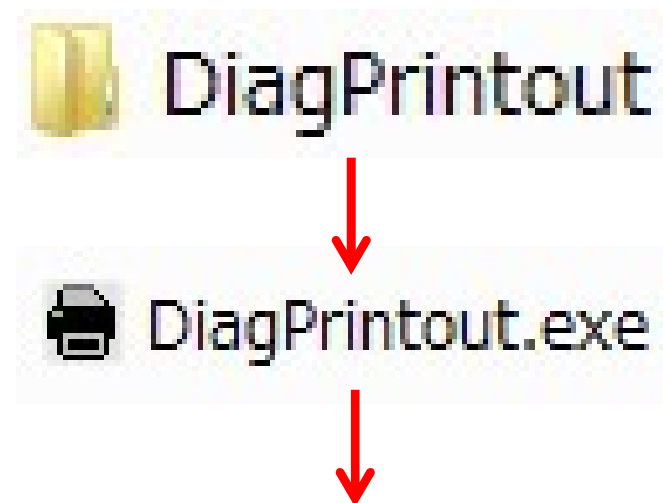
手順2. 「自動再生」の表示
パソコンの画面に「自動再生」が表示されましたら「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックします。



ステップ4. 診断データの出力

手順3. Diag Printoutの起動

- ①フォルダの一覧が表示されます。
一覧のなかにある「DiagPrintout」のフォルダをクリックします。
- ②「Diagprintout.exe」をクリックします。
- ③「DiagPrintout」が起動します。



ステップ4. 診断データの出力

手順4. 車両情報の呼び出し

「DiagPrintout」の「開く」をクリックします。

DiagPrintout Ver.1.1.0.0

車両情報

お客様名

メーカー

車種

登録番号

車台番号

車両型式

クリア 開く... 保存...

診断ファイル

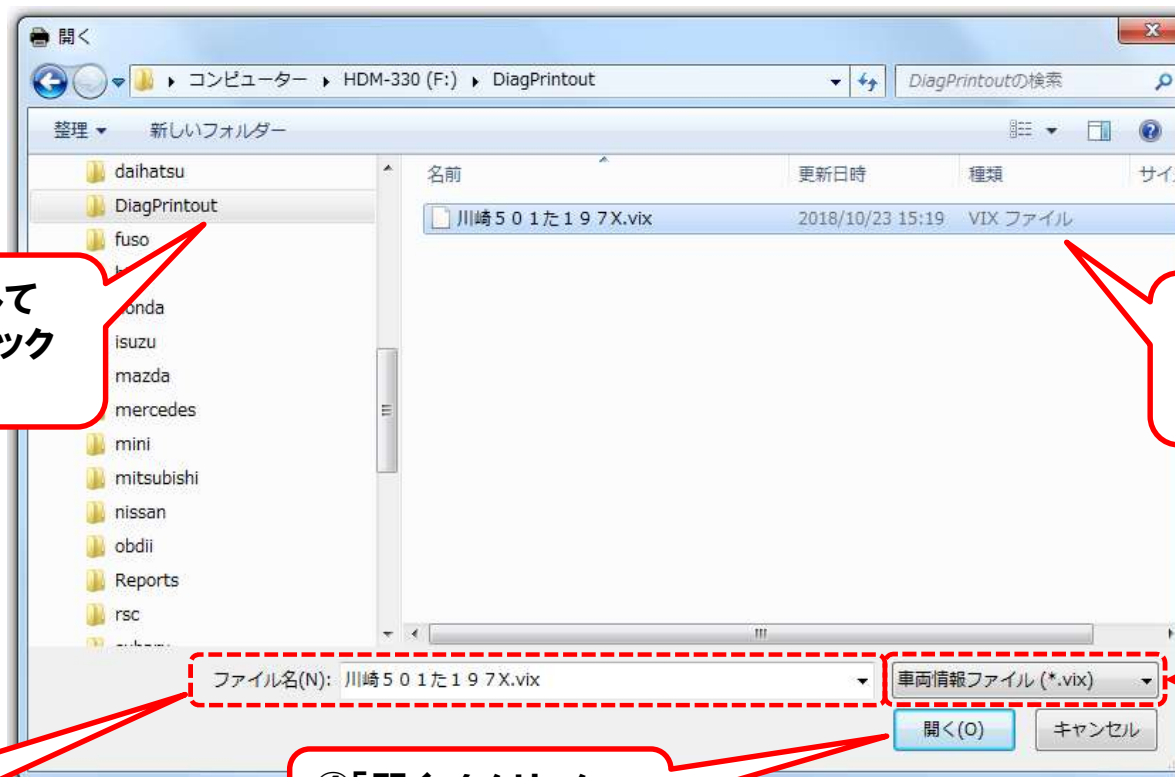
診断ファイル

終了 自社情報... 印刷...

ステップ4. 診断データの出力

手順5. 車両情報の選択

「開く」が表示されます。保存している車両情報から「DiagPrintout」に表示したい車両情報を選択して下さい。



①車両情報を保存しているフォルダをクリックします。

②表示したい車両情報をクリックして選択します。

③ファイル名に選択した車両情報が表示されます。

④「開く」をクリックして下さい。

「車両情報ファイル」と表示されていることを確認して下さい。
※クリックして変更することが出来ます。

ステップ4. 診断データの出力

手順6. 車両情報の表示

11～13ページのステップ2で作成した「車両情報」が、DiagPrint out内に表示されます。

The screenshot shows the 'DiagPrintout' application window. The title bar includes the application name and a close button. The main content area is titled '車両情報' (Vehicle Information) and contains several input fields with the following data:

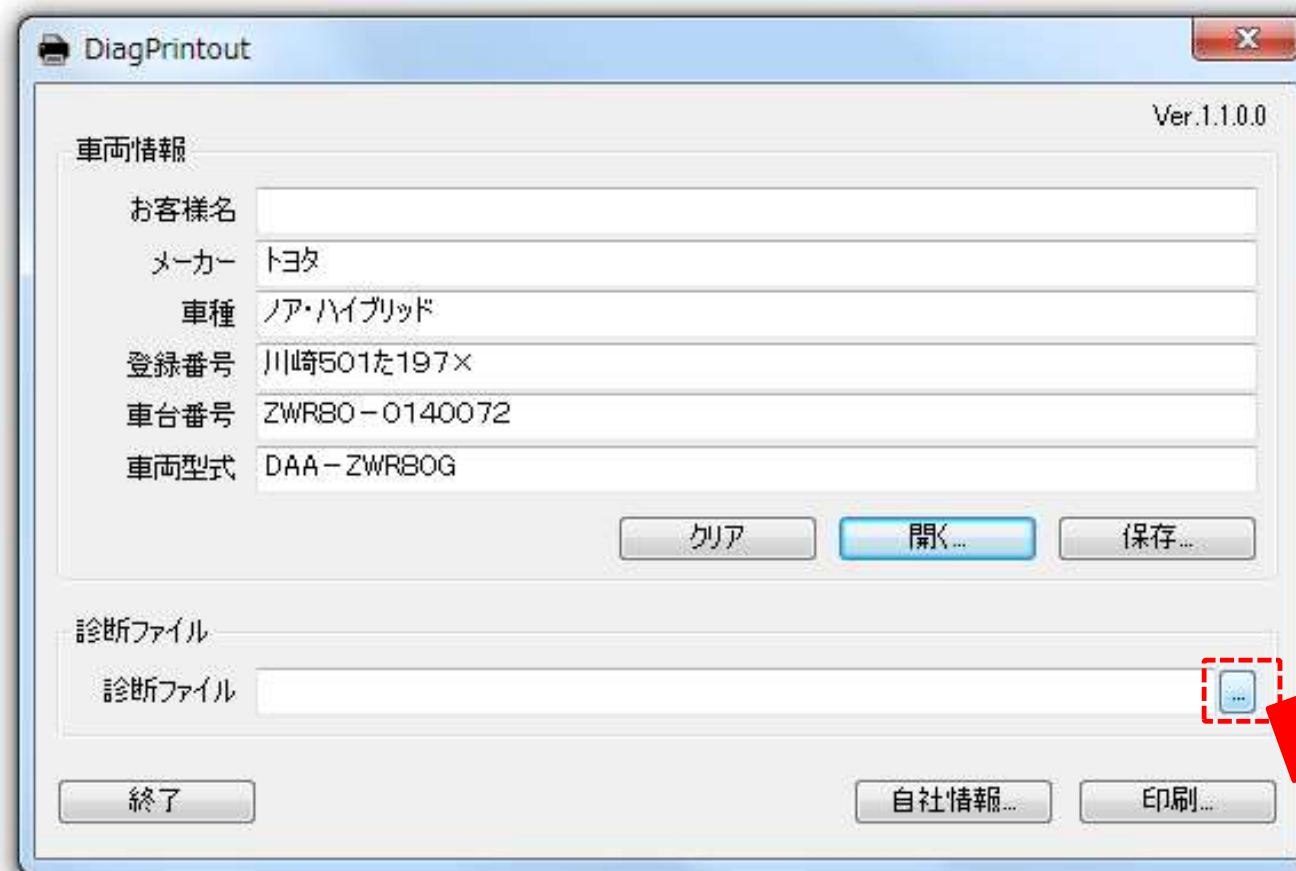
項目	値
お客様名	
メーカー	トヨタ
車種	ノア・ハイブリッド
登録番号	川崎501た197×
車台番号	ZWR80-0140072
車両型式	DAA-ZWR80G

Below the input fields are three buttons: 'クリア' (Clear), '開く...' (Open...), and '保存...' (Save...). At the bottom of the window, there are four buttons: '終了' (End), '自社情報...' (Company Information...), and '印刷...' (Print...).

ステップ4. 診断データの出力

手順7. 診断ファイル(保存データ)の呼び出し

DiagPrintout内の診断ファイルの空欄の右側にある四角いボタンをクリックします。



ステップ4. 診断データの出力

手順8. 診断ファイルの選択

「開く」が表示されます。保存している診断ファイルから「DiagPrintout」に表示したい診断ファイルを選択して下さい。

① Reportsをクリックします。

② 表示したいファイルをクリックして選択します。

③ ファイル名に選択したファイルが表示されます。

④ 「開く」をクリックして下さい。

「診断XMLファイル」と表示されていることを確認して下さい。
※クリックして変更することが出来ます。

ステップ4. 診断データの出力

手順9. 印刷の実行

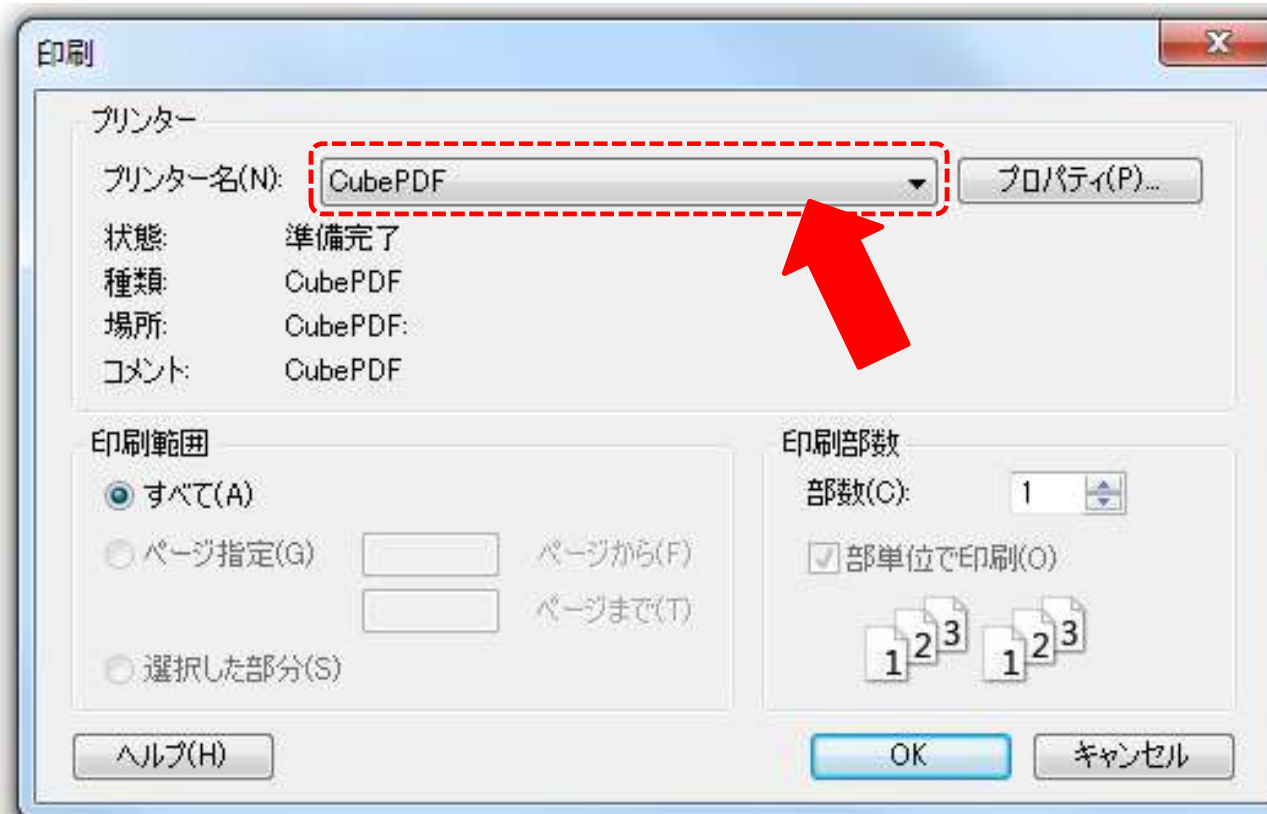
DiagPrintout上に車両情報と診断ファイルが表示されましたら、印刷をクリックして下さい。

The screenshot shows the 'DiagPrintout' application window. The title bar includes the application name and a close button. The version number 'Ver.1.1.0.0' is displayed in the top right corner. The main area is divided into two sections: '車両情報' (Vehicle Information) and '診断ファイル' (Diagnostic File). The '車両情報' section contains several input fields: 'お客様名' (Customer Name), 'メーカー' (Manufacturer) with 'トヨタ' (Toyota) entered, '車種' (Vehicle Type) with 'ノア・ハイブリッド' (Noah Hybrid) entered, '登録番号' (Registration Number) with '川崎501た197×' entered, '車台番号' (Chassis Number) with 'ZWR80-0140072' entered, and '車両型式' (Vehicle Model) with 'DAA-ZWR80G' entered. Below these fields are three buttons: 'クリア' (Clear), '開く...' (Open...), and '保存...' (Save...). The '診断ファイル' section has a text field for '診断ファイル' (Diagnostic File) containing 'F:\Reports\Toyota_DTC-001.xml' and a browse button (...). At the bottom of the window, there are three buttons: '終了' (End), '自社情報...' (Company Information...), and '印刷...' (Print...). A red dashed box highlights the '印刷...' button, and a large red arrow points to it from the right side of the image.

ステップ4. 診断データの出力

手順10. PDF化して出力

パソコンの画面上に「印刷」のダイアログが表示されましたら、プリンターをPDFに選択して、印刷を実行して下さい。



※1: 予めパソコンにPDF作成ソフトがインストールされている必要があります。

※2: PDF化の手順はPDFソフト毎に異なります。

ステップ4. 診断データの出力

手順11. 「診断データ」の完成
診断データ(愛車診断レポート)
がPDFファイルで出力されます。

※出力したPDFファイルのファイル名
は登録番号等、後から検索が行い
易い名前にされることをお奨めします。

愛車診断レポート			
お客様名 :			
メーカー :	トヨタ	車種 :	ノア・ハイブリッド
登録番号 :	川崎501た197X	車台番号 :	ZWR80-0140072
車両型式 :	DAA-ZWR80G	診断日 :	2018/10/23
診断結果			
システム	故障コード	内容	
エンジン	P0102	エアフローセンサー(Low)	
	P0113	吸気温度センサー(High)	
HV	なし		
クルーズコントロール	なし		
ABS-VSC-TRC	なし		
電動パワステ	なし		
P制御	なし		
A/C	なし		
エアバッグ	なし		
メインボデー	なし		
RL席ドア	なし		
D席モータ	なし		
P席モータ	なし		
RL席モータ	なし		
RR席モータ	なし		
パワーウィンドウSW	なし		
メータ	なし		
オートレベリング	なし		
照合	なし		
電源	なし		
車両接近通報装置	なし		
常陸オートサービス 担当者: 藤田佐和 〒135-0062 東京都江東区東豊2-10-14 TEL : 03-3527-63XX / FAX : 03-3537-63XX メール : HAS@hitachisawa.com 使用テスタ: HDM330			
1 / 1			